

A black and white photograph of two hands, one larger and one smaller, reaching towards each other to form a heart shape. The hands are positioned against a dark background. The larger hand is on the left, and the smaller hand is on the right. Their fingers are curled inwards, meeting at the tips to create the heart's outline.

未来をつくる提言 2025

Love Letter



 津山商工会議所青年部

【所在地】 津山市山下 30-9

【公式サイト】 <https://tsuyama-yeg.org/>



津山商工会議所青年部

# 未来をつくる提言 2025

## Love Letter

contents 1.	ご挨拶	2P
contents 2.	ストーリー	4P
contents 3.	1) 第1回 津山のいいところアンケート(一般向け)	5P
	2) 第1回 まちづくり MTG(ミーティング)	6P
contents 4.	1) 第2回 津山のいいところアンケート(高校生向け)	11P
	2) 第2回 まちづくり MTG(ミーティング)	12P
contents 5.	提言	15P
contents 6.	おわりに	18P

### contents 1. ご挨拶

令和7年度、津山商工会議所青年部(津山 YEG)は「Next Innovation ~ Love makes me strong ~」というスローガンのもと、自分だけでなく、相手を思いやることが人としての土台であり、成長の原点だと信じて活動しています。また、活動が地域を明るく照らす愛となるよう、想いを大切に、革新と挑戦を恐れず、新しい価値を創造することを目指しています。この想いを胸に地域の課題と真剣に向き合い、理解を深めたうえで、具体的な解決策を示し実行していく。組織としての強みを活かし主体的に行動することで、地域のためにできることを一つひとつ形に変えていきます。地域が原点であり、人がつながりの中心である—その想いが未来をつくと信じています。

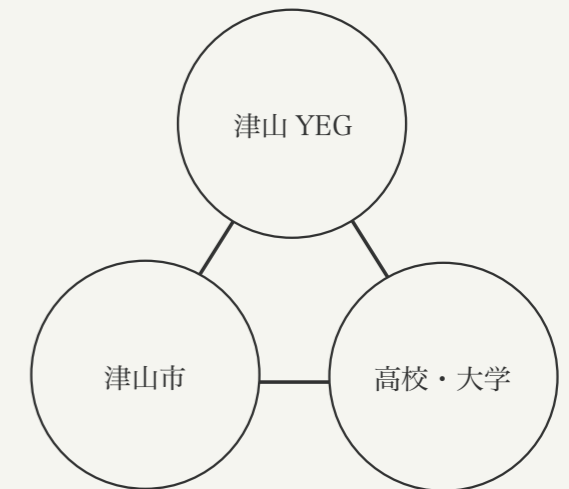
本提言書が未来を思い描く一助となることを祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。最後に、本提言書の作成にご協力いただいたすべての皆さまへ、心から感謝を申し上げます。

Love Letter — 感謝と愛をこめて

NAOYUKI TORIGOE  
鳥越 直之 | 津山商工会議所青年部  
第35代会長



令和7年度津山 YEG スローガン



津山 YEG がこれからも地域にとって不可欠な存在であり続けるためには、地域との絆を一層深め、具体的な形で貢献することが重要です。私たちは単なる商業活動にとどまらず、地域の文化や人々の生活の質を高める活動を積極的に行っていきます。その1つの取り組みが過去8年間続けられてきた「提言書」作成、手交となります。これまでの活動を次の世代に繋げていくためにも、この「Love Letter」が少しでも形あるものになることを願って...

## contents 2. ストーリー

### ● 過去の提言内容一覧

平成 29 年度	政策提言書「人口 10 万人維持への挑戦」
平成 30 年度	政策提言書「財政難からの脱却」
平成 31 年度	政策提言書「拠点都市津山の再興」
令和 2 年度	政策提言書「さくみらい」
令和 3 年度	政策提言書「津山市の人口維持と地域経済の活性化に関する提言」
令和 4 年度	政策提言書「循環と持続～津山を未来へ～」
令和 5 年度	政策提言書「未来予想図～我がまちへの想いと願い～」
令和 6 年度	政策提言書「彩～津山の新たな魅力を経済に繋げる提言～」

### ● 令和 7 年度の思い

#### 令和 7 年度 提言委員会「Love Letter」

この度は未来をつくる提言「Love Letter」をご覧いただき誠にありがとうございます。25 歳から津山 YEG に入会させていただき 12 年が経ちました、令和 7 年度津山商工会議所青年部、提言委員会委員長の関元崇志です。私は 12 年間でたくさんの先輩方と事業をし津山の経済や事業、そして「人」を知ることができました。

そしてこの度、津山に必要なだと思うことを当提言書にまとめさせていただきました。未来の津山に必要なことは「若者」の“生きる場所”の確保と構築です。当提言書を通じて、読者の皆様がどう汲み取り未来へ繋いでいくか。共に考え取り組み歩んでいければ幸いです。是非最後までご覧ください。

## TAKASHI SEKIMOTO

関元 崇志 | 津山商工会議所青年部  
令和 7 年度提言委員会  
委員長



WE ARE YEG

QR コードリンク先：津山商工会議所青年部ホームページ

## contents 3. 第1回津山のいいところアンケート (一般向け)

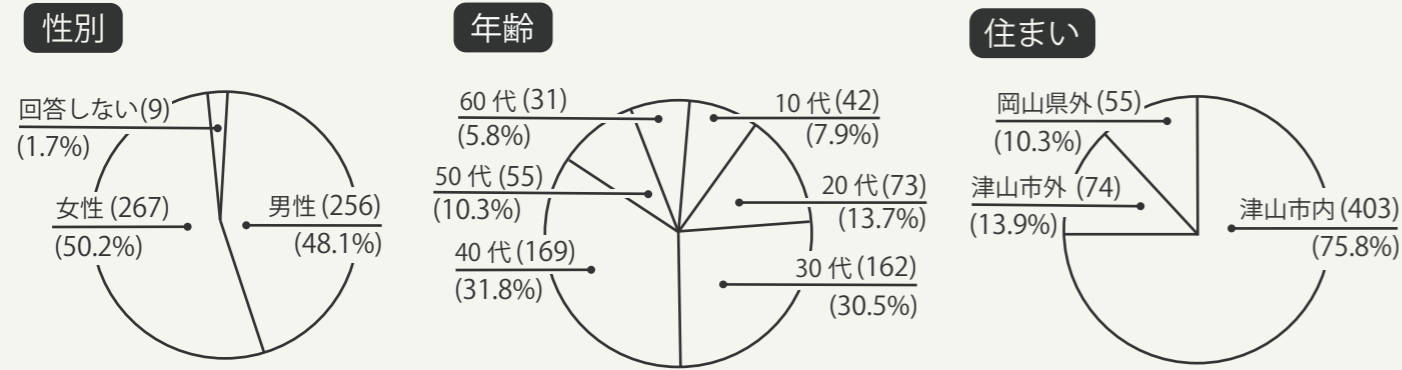
まず初めに我々提言委員会は津山について市民の皆さんがどう思っているか知りたいという思いから、第1回津山のいいところアンケート(一般向け)の実施をしました。

集計期間: 令和7年5月13日~5月20日 集計件数: 532件 対象: YEGメンバーの会社を中心に

### 【アンケート内容】

県外に住んでいる友人が津山に移住を考えています。津山のいいところ、また課題を伝えるなら？

532件からのアンケート回答の中からキーワードとして上がってきた物を8つのカテゴリに分けることができました。またそのキーワードを良い悪いで判別させたものが以下の表となります。



津山の食と肉文化にはもっと誇りを持っていい、PRすべきだ!

	カテゴリー	良い	悪い
1	食・肉文化	450	0
2	自然・環境	361	40
3	歴史・文化資産	213	10
4	生活便利・子育て・医療	137	218
5	交通アクセス	60	283
6	娯楽・施設	118	368
7	人柄・コミュニティ	70	241
8	行政・経済・治安	0	371

津山市の行政・経済・治安について、津山市の皆さんは

知らないことが多すぎるのではないだろうか。もっと知ってもらいたいことが大事だ!

上記の回答結果を得られたことから当委員会では集計で出た意見をもとに、対面でミーティングする「津山まちづくりMTG(ミーティング)」を開催することにしました。実際に回答者のリアルな意見をお聞きし、提言書に反映させることが狙いであります。

## 第1回まちづくりMTG(ミーティング)

第1回まちづくりMTG(ミーティング)で、我々は8つのカテゴリから悪い意見が多かった「5つ」のカテゴリに絞りました。約30名で5つのグループに分かれディスカッションを実施しました。

### 生活便利・子育て・医療

第1グループ: 生活便利・子育て医療

#### 子育て - 子育て支援の薄さ

#### 医療 - 医療の偏り・産婦人科の減少・学問レベルの低下

#### 物価高騰 - 住民サービスと税金のバランス

#### 買い物 - オンラインショッピングの普及・チェーン店の増加

- ・アンケート結果にある「子育て支援が薄い」に対して不足しているとは思っていない
- ・奈義の子育て支援が良すぎる  
→津山が悪いわけではない
- ・兄弟姉妹で違う園に通うことになる家庭がある
- ・津山の医療費は充実している  
→高校まで医療費がかからないなど岡山県は全国的にレベルが高い  
→津山に医師が戻ってくるような支援があれば  
→津山で働くイメージが持てるように
- ・大正、昭和初期は学問のレベルが高かった  
→作陽移転・美作大学生徒減少  
→美作大学に魅力を感じていない  
→大学が欲しい・IT系の学校の受け皿に
- ・ゴミ袋が高い  
→津山以外が安い?
- ・アルネ・イオンに魅力がない
- ・地元企業を使って欲しい
- ・地元企業PR不足

※太字はアンケートからのキーワード

細字はまちづくりミーティングでの実際にでた意見



## 人柄・コミュニティ

第4グループ：人柄・コミュニティ

閉鎖的・排他的 - よそ者を受け入れない・派閥がある  
ガラ・治安の悪さへの指摘 - 口が悪い・ヤカラ・不審者・暴走バイク  
足を引っ張る文化 - 目立つ人を僻む・挑戦を潰す空気  
人間関係が面倒 - コミュニティへの強制参加・噂が広まりやすい  
マナー低下 - ポイ捨て・路上喫煙・運転マナー

- ・路上で喫煙する人がいて驚いた
- ・駐車場に多くのゴミが捨てられている
- ・町内会の活動に消極的である
- ・接客等をしていると口が悪い人がある
- ・横断歩道で止まってくれる車が増えた
- ・コミュニティの形も変わってきている  
→自分らしく住むこと、自分たちで住み良くしていく
- ・昔より良くなっている→時間が解決してくれる(多数意見)

## 行政・経済・治安

第5グループ：行政・経済・治安

行政サービスの遅れ - 市政が旧態依然・市職員の対応が冷たい  
税負担感 - 住民税・固定資産税、ごみ袋が高い  
産業・雇用不足 - 若者の就職先が少ない・中小企業の賃金が低い  
人口流出・空き家増加 - Uターンしづらい・空き家対策が進まない  
財政・議会への不満 - 議員高齢化・定数が多い・財政難  
治安・防犯面 - 石投げ込み事件・夜道が怖い

- ・議員の高齢化が問題だったが若手になってきた
- ・市職員さんのモチベーションUP方法を検討
- ・産業、雇用が少ない →学校へ郷土愛を
- ・行政としての発信が薄い→SNSの強化 →民間との連携でPR
- ・女性や子供が安心して暮らせる街に →街灯を増やして欲しい
- ・一つ完結ではなく複合的に連携して欲しい



第1回まちづくりMTGより

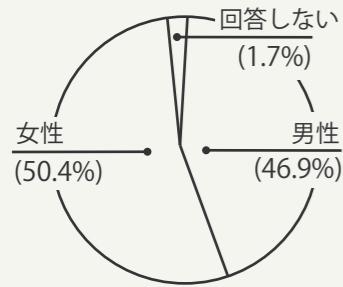


## 第2回津山のいいところアンケート (高校生向け)

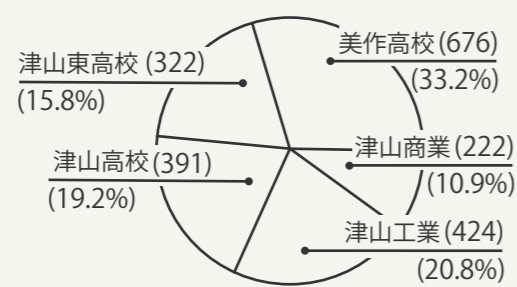
集計期間：令和7年8月18日～9月19日 集計件数：2035件

第1回アンケートとまちづくり MTG を経て、各5つのカテゴリーの内容について若者はどのように思っているのかまた、津山市についてどのような印象で将来を考えているのか調査することになりました。

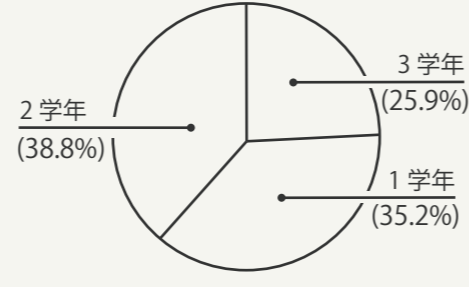
### 性別



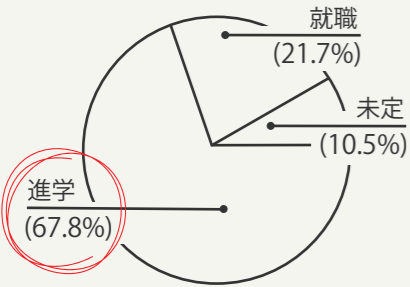
### 高校



### 学年

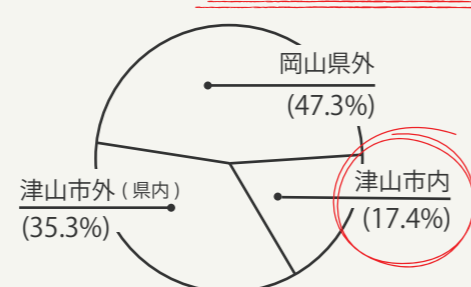


### 進路



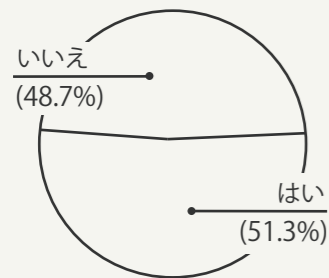
進学希望が圧倒的多数!

### 希望場所

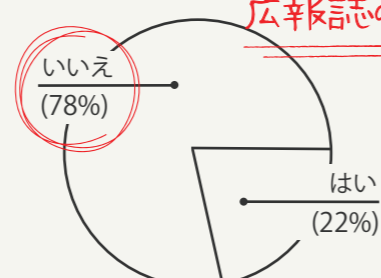


8割以上が津山から出たい!

### 津山に住み続けたい または、戻ってきたい?



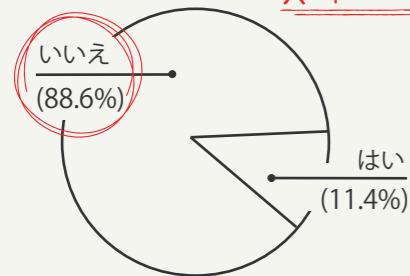
### 津山市発行の広報誌を 見た事があるか?



広報誌の認知度は低い

### 津山市で働きたい会社はあるか?

具体的な企業名は少なく、市役所や病院など公共性の高い職場が挙がる



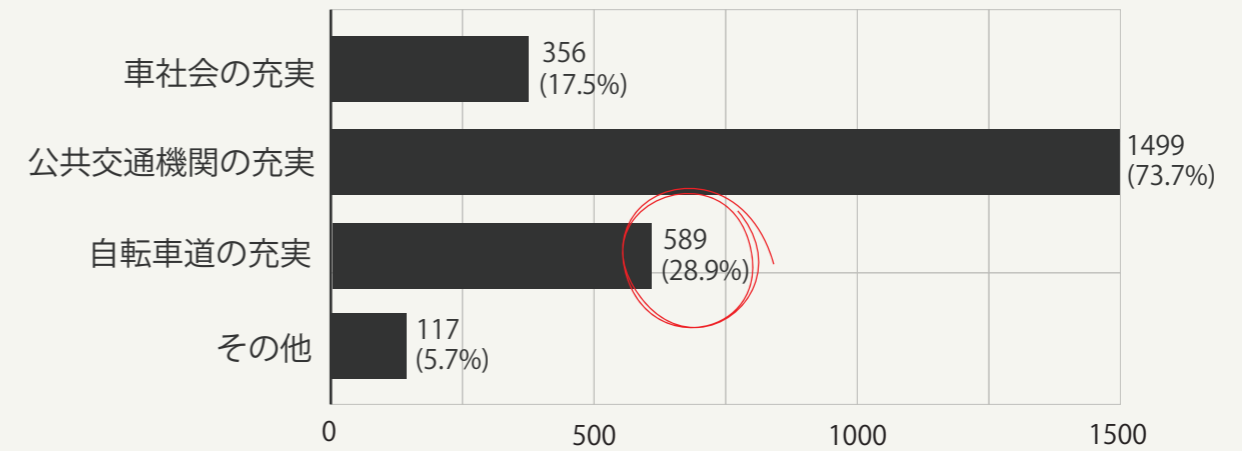
### 津山市で働いてみたい会社

津山市役所 / 岡山県警 / 消防署 / 公務員 / 津山中央病院 / 津山第一病院 / 保育園  
津山商業高等学校 / 津山市立図書館 / 津山児童福祉事務所 / 村井紙器株式会社 /  
津山信用金庫 / 銀行 / 農協 / レプタイル株式会社 / シロヤマテラス / etc.

## 第2回まちづくり MTG(ミーティング)

第2回目のアンケートをもとに第2回まちづくりを実施しました。  
ここでは約30名で3つのカテゴリーについてグループディスカッションを実施しました。

### ① 交通アクセスについて ② 娯楽・施設について ③ 行政のあり方について



### ①交通アクセスについて

- ・街路樹が必要ではないか
- ・自転車安心して走れる自転車道の整備をしてほしい
- ・サイクリングロードを津山まで延長してほしい
- ・夜間が暗い
- ・無人バス、LOOP、電動キックボードの導入
- ・学校へごんごバスの推奨してもらう
- ・ごんごバスの認知度を上げるためにアプリの活用  
→ 学割やサブスクも視野に入れる



## ② 娯楽・施設について

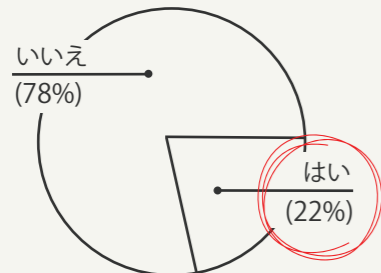
### 津山ではどこで遊んでいますか？の問いに高校生の答えは

1. カラオケ・・・ 372 件
2. イオン・・・ 356 件
3. アルネ・・・ 74 件
4. なし・・・ 66 件
5. ボーリング・・・ 55 件

- ・アルネの魅力不足  
→ ベルフォーレの活用法。
- ・デートスポットの PR  
→ ごんごバスと結びつける
- ・X スポーツの遊び場の整備
- ・プール、ボルタリング、映画館がない
- ・週末のイベントの不足  
→ アルネやグリーンヒルズなど

## ③ 行政のあり方について

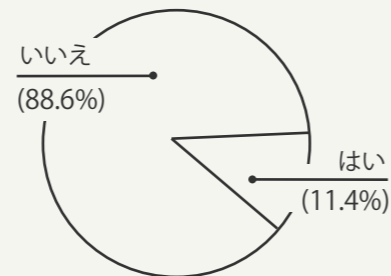
### 津山市発行の広報誌を見た事があるか？



若者が手に取って見たいと思える「新しいカタチ」が大切だろう。

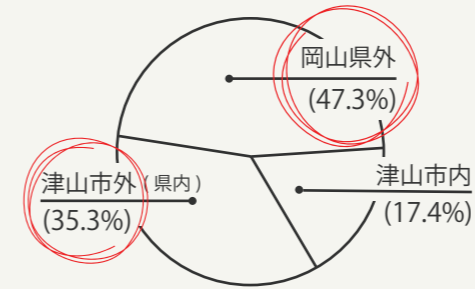
- ・津山の企業を PR するアプリ
- ・高校生版キッズビジネスタウンの実施
- ・高校生と企業や大人が交流できる事業の構築  
大人と学生が意見交換できる事業  
高校生と企業と一緒に文化祭など
- ・津山市の沼さんの講演会を実施する
- ・YEG として若者への起業支援
- ・津山の人気企業等の特集する

### 津山市で働きたい会社はあるか？

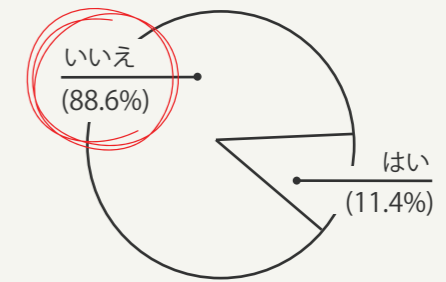


2回に渡ってアンケートとまちづくり MTG を実施し、津山市に対する多くの気づきがあった。その中でも若者に対して以下の**キーワード**をまとめた。

### 希望場所



### 津山市で働きたい会社はあるか？

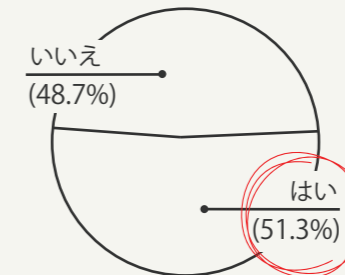


津山から出たい**約 8 割**の高校生、就職希望の**約 9 割**の高校生が津山以外で働きたい

若者は都会や市外に憧れと期待を多く持っている。

その思いを尊重しつつ「津山の魅力を伝え続ける」取り組みが必要である。

### 津山に住み続けたい、または戻ってきたい？



将来は**約 5 割**の高校生が津山に住み続けたい、または戻ってきたい

というアンケート結果から将来的に考えると津山への思いと期待は多くある。だからこそ若者の活きる場所の確保と構築が必要となる。それは将来の津山の経済や事業、そして「人」を守ることに繋がる。

### その繋がりを作るための提言をまとめた

- I. 津山の企業を「知る」
- II. 津山の経済人と「繋がる」
- III. 津山の経済人と「体験」

## I. 津山の企業を「知る」

### 1. 学生と企業をつなぐマッチングアプリの開発 津山市への提言

近年、学生の就職活動はオンライン化が進んでおり、地域企業の魅力を発信するためには、デジタルツールの活用が欠かせない。そこで津山市主導、または産学官連携により、以下の機能を備えたマッチングアプリの開発を提案する。

- ・企業情報・求人情報・インターンシップ情報の掲載
- ・企業の紹介動画、社員インタビューなどのデジタルコンテンツ
- ・学生の興味や適性に応じたレコメンド機能
- ・応募・相談・企業とのチャット機能の導入、これにより学生と地元企業との接点創出を強化し、地域就職率の向上が期待できる。

### 2. 進路指導担当者と津山 YEG による年 1 回の意見交換会 学校への提言

若者の進路選択において、学校と地域企業の連携は不可欠である。

進路指導の先生と津山 YEG との「年 1 回の意見交換会」の実施を提案する。

- ・地元企業の採用動向
- ・必要な人材像の共有
- ・学生の進路傾向や課題のフィードバック
- ・インターン受入や企業見学の調整や継続的な対話により、教育現場と地域経済の双方にメリットが生まれる。

### 3. 学祭への地域企業ブース出展の促進 学校への提言

学祭をキャリア教育の場としても活用し、企業の魅力発信の機会とする。

- ・地元企業によるブース出展
- ・企業 × 学生コラボ企画
- ・就職、インターン情報の提供を行うことで、学生と企業双方にとって有意義な交流の場とする。

## II. 津山の経済人と「繋がる」

### 1. 津山 YEG 企業による出前授業の導入 学校への提言

地域企業が学校に出向き、授業の一部として講義・実演・ワークショップを実施することで、学生は「働くとは何か」を直に学ぶことができる。

- ・企業経営者による講話・職業別リアル体験プログラム
- ・地域課題をテーマにした探究学習サポート これらは地域に対する理解を深め、地元就職への関心を高めるきっかけとなる。

### 2. 津山納涼ごんごまつりへの、学校主体での学生参画 津山市への提言 学校への提言

地域最大級のイベントに高校・大学が公式に参画することで、学生の地域愛の醸成や、主体性・協働性の育成につながる。

- ・ボランティア運営
- ・ステージ企画
- ・ブース出店
- ・地域課題テーマの展示
- ・学生実行委員会の設立 など 地域と若者が一体となる新たなまつりの形をつくることを期待される。

### 3. 「中学生こみゅ」の高校生版の創設 津山市への提言 学校への提言

中学生を対象とした「中学生こみゅ」の取り組みは、高い教育効果と地域理解の深化を生んでいる。同様の仕組みを高校生向けに展開し、以下の機能を持つプラットフォームの創設を提案する。

- ・企業・行政・大学など地域と高校生をつなぐ発信拠点
- ・授業・部活動・探究活動と連動した地域課題解決プロジェクト
- ・ボランティア・イベント情報の提供
- ・キャリア教育を充実させることで 高校生の地域参加を促進し、地域の担い手を育成する効果が見込まれる。

### III. 津山の経済人と「体験」

#### 1. 「キッズビジネスタウンつやま」の高校・大学生版の企画 学校への提言

小学生向けに実施しているキッズビジネスタウン事業を発展させ、“高校生・大学生がリアルな起業・経営を体験できるプログラム”として再構築することを提案する。

- ・事業計画づくりの体験
- ・地域課題を用いたビジネスコンテスト
- ・地元企業とのメンタリング
- ・実際に販売・提供まで行う実践型プログラム 若者の起業家精神を育てる取り組みとして大きな効果が期待できる。

※【キッズビジネスタウンつやま】とは津山 YEG が津山商業高等学校と共催で開催する「子供たちが創る、子供たちの街」という理念のもと、子供たちが主役となり、働き・学び・遊び・協力しながら街を運営する事で社会の仕組みを学ぶ職業体験イベントです。

#### 2. 津山 YEG 継続事業への学生参画の推進 学校への提言

津山 YEG が主催・協力するごんごまつり、つやま綱引き大会などの継続事業に学生を積極的に巻き込むことで、次世代リーダー育成と地域愛の醸成につながる。

- ・運営スタッフとしての参加
- ・学生チームの企画提案
- ・広報・デザインなど専門性を活かした協力「地域をつくる経験」を若者に提供する取り組みを強化する。

小学生 4 年生～6 年生を対象とした職業体験イベント  
【キッズビジネスタウン 2025 大工体験】より



#### contents 6. おわりに

令和 7 年度、津山商工会議所青年部提言委員会担当副会長の津本直義と申します。まず本提言書をご覧いただき、ありがとうございました。我々津山 YEG は地元津山で事業を営む企業家集団であります。我々の事業もこの津山市と運命共同体の間柄となると私は思っております。「津山の未来なくして我々の事業の未来もない。」そのような危機感を抱きながらこの度、津山市の若者に、未来に、フォーカスした本提言書を作成させていただきました。

過去、津山 YEG では 8 年にわたり津山市へ提言書を手交させていただきました。本年度は「政策提言」ではなく、より自由度の高い「提言」を基軸に作成いたしました。AI、IoT などデジタル社会が推進される今、この時代だからこそ人と人が人間らしく「愛」をもって接することもデジタル化とあわせて現代社会に重要なことだと考えます。おわりに、本提言書の作成にご協力いただいたすべての皆さまへ心から感謝を申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。

NAOYOSHI TSUMOTO

津本 直義 | 津山商工会議所青年部  
令和 7 年度提言委員会  
担当副会長



第 1 回まちづくり MTG より